

\*\*\*\*\*

多面的機能支払 メールマガジン

## 「農村ふるさと保全通信」第51号(2018.10.22)

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

\*\*\*\*\*

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第51号をお届けします。

今回の活動組織の活動紹介では、農地・農村環境を守ることの大切さを子供達に伝承するために、コメづくり体験や農業水利施設見学ツアーに取り組む組織と、町全域に渡る広域化を行い、地域の景観形成に向けてコスモスの植栽活動に力を入れて取り組む組織を紹介します。

事務局からは、『平成30年度 田園自然再生活動の集い』開催のご案内、イベントの開催報告、「連載：高度な保全活動とは？」についてお知らせします。

### ---第51号の目次-----

#### 1. 活動組織の活動紹介

☆丸山川右岸環境保全組合（千葉県南房総市）☆

☆金武町農地・水・環境保全管理協定運営委員会（沖縄県国頭郡）☆

#### 2. 『平成30年度 田園自然再生活動の集い』開催のご案内

3. イベントの開催報告！～「地域資源保全！住民参加を考えるシンポジウム in とちぎ」の開催報告（栃木県小山市）～

4. 高度な保全活動とは？～シリーズ3：グリーンベルト等の設置～

（編集後記）

-----

## ■ 1. 活動組織の活動紹介(1)

まるやまがわうがん  
～丸山川右岸環境保全組合(千葉県南房総市)～  
みなみぼうどう

### ～地区概要～

千葉県の南部に位置する南房総市の中央にある地域を拠点に活動。

活動範囲は、田 112ha、畑 52ha、草地 11ha。保全管理する施設は、水路 69km、農道 15km、ため池 10箇所。

### ～主な取組～

- ◎本組織は、地域の重要な資源である農地・農村環境を守ることの大切さを子供達に伝承することに力を入れて活動に取り組んでいます。
- ◎その一環として、平成19年度から毎年、地元小学校や安房中央土地改良区と連携して、田植え・稲刈り・脱穀等の一連のコメづくり体験を実施しています。
- ◎さらに、今年は、子供達に農業用水の大切さを知ってもらおうと、農業水利施設見学ツアー「田んぼの水はどこからくるの？」を実施しました。千葉県最高峰愛宕山山頂からスタートして、ダム・用水路・ため池などの農業水利施設をバスで巡るという内容になっており、農業や施設管理への関心を高めるねらいがあります。
- ◎このような取組により、子供達の農業への関心や農業用施設への理解が深まるとともに、地域の一体感が高まっています。今後も、活動を継続していき、地域の発展・活性化を目指したいと思います。

【丸山川右岸環境保全組合 組合長  
山田一夫】



コメづくり体験(稲刈り)



農業水利施設見学ツアー



ツアー用パンフレット

## ■ 1. 活動組織の活動紹介(2)

～<sup>きん</sup>金武町農地・水・環境保全管理協定運営委員会(沖縄県<sup>くにがみ</sup>国頭郡<sup>きん</sup>金武町)～

### ～地区概要～

沖縄本島のほぼ中央部東海岸に位置する金武町で活動しています。本地区では、さとうきびだけでなく、沖縄での栽培が珍しい水稻や田芋、果樹といった付加価値の高い特産品を生産しています。活動範囲は、田 51.0ha、畑 275ha。

### ～主な取組～

- ◎本地区では、高齢化の進行と担い手不足に伴う地域コミュニティ力の低下や、耐用年数を迎えた農業用施設の維持保全が課題となっていました。このため、町内の農業者や青年会、老人会、そして婦人会などの様々な団体を構成員として、金武町全域を対象とする広域活動組織を設立して、農道や水路の草刈り、泥上げ作業、パイプラインの補修等に取り組んでいます。
- ◎景観形成活動にも力を入れており、秋から冬にかけて、水稻収穫後の水田約2haを利用して、コスモスの植栽活動を行っています。(沖縄では、水稻は2月～3月に作付けし、7月頃に収穫します。)
- ◎このコスモスを目当てに人々が集まるようになり、地域の農業者が農産物販売の出店を行うなど徐々に盛り上がりを見せた結果、今では「伊芸区<sup>いげい</sup>コスモスまつり」として県内有数の人気イベントとなりました。
- ◎今後も、地域ぐるみの共同活動を活かして農村環境を良くするよう努力していきたいと思えます。



コスモスの種まき



伊芸区コスモスまつり

## ■2.「平成 30 年度 田園自然再生活動の集い」開催のご案内

(一社)地域環境資源センターでは、田園自然再生活動を推進するため、「田園自然再生活動の集い」を開催しています。今年度は、「ともに学び、成長する(育つ)場としての田園空間」をテーマとして、農村における持続的な自然再生のあり方や今後の展開について考えます。

▽日程▽

平成 30 年 12 月 10 日(月) 13:00~17:15

▽会場▽

東京大学 弥生講堂(一条ホール)(東京都文京区弥生 1-1-1)

▽参加費▽

無料(交流会は別途)

▽申込み・問合せ先▽

〒105-0004 東京都港区新橋 5-34-4

(一社)地域環境資源センター 田園自然再生活動事務局(担当:藤田)

TEL:03-5425-2461

FAX:03-3432-0743

E-mail:denen-saisei@jarus.or.jp

◎イベント詳細(参加申込書)

<http://www.acres.or.jp/Acres/denen/H30/tsudoj.htm>

【(一社)地域環境資源センター 田園自然再生活動事務局】



### ■3. イベントの開催報告！

#### ～「地域資源保全！住民参加を考えるシンポジウム in とちぎ」の開催報告 (栃木県小山市)～

10月12、13日（金、土）に道の駅思川 小山評定館（栃木県小山市）において日本グラウンドワーク協会及び栃木県農地水多面的機能保全推進協議会の共催による「地域資源保全！住民参加を考えるシンポジウム in とちぎ」が開催されました。

日本グラウンドワーク協会と多面的機能支払交付金活動との連携については、平成27年度に日本グラウンドワーク協会設立20周年を記念したセミナーを契機に、その翌年から取組事例や連携方策についての意見交換を行うシンポジウムなどを開催しています。

今回のパネルディスカッションでは、「豊かな農村環境は誰が守るのか」をテーマに活発な意見交換が行われました。参加団体のグラウンドワーク西鬼怒からは、「田んぼの学校」という農業体験の実績をもとに、30代の親と子どもが活動に参加するとリピート率が高いことが紹介されたほか、意見交換の場では、農村環境を守るためにはまず個々の家庭を守ることが重要であり、その結果として集落や農村環境を守ることに繋がるといった興味深い発言がありました。

今後もこうしたシンポジウムを通じて、各々の団体や活動組織での取組が活発化し、農村環境の保全に繋がることを期待しています。

※グラウンドワークとは、1980年代初頭に英国内で地域社会の衰退を背景に設立された組織であり、「住民・企業・行政がパートナーシップを組み、地域環境の改善を通して経済および社会の再生を図り、持続可能な地域社会を構築すること」を目的としています。日本では1995年に（財）日本グラウンドワーク協会が設立され、各会員は地域の環境保全・回復、地域活性化などの様々な活動を展開しています。

○「(財)日本グラウンドワーク協会」についてはこちらから！

<http://groundwork.or.jp/>

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

## ■4. 高度な保全活動とは？～シリーズ3:グリーンベルト等の設置～

本記事では、多面的機能の増進を図る活動に位置付けられた「農村環境の幅広い展開」で行う高度な保全活動について、順次紹介していきます。

今回のテーマは、「グリーンベルト等の設置」です。農地周辺の水路沿い等にグリーンベルト（緑地帯）等（畦畔、木柵等含む）を設置することで、農地等からの土壌流出の防止を図ります。

### 【活動内容】

1. 地域の農地からの土砂の流出状況等を把握し、グリーンベルトの設置が必要な箇所について検討します。合わせて、どのような品種にするか、いつ設置するかを決定します。
2. 設置する場所を整地し、設置間隔を決めてマーキングしておきます。
3. マーキングに合わせてグリーンベルトを設置します。
4. 設置後、点検を行い、定期的に草刈り、補植、刈払い等が必要です。



土砂の流出状況



植栽状況



グリーンベルト設置

### 【植物選定時のポイント】

- ・小さな植栽面積で効果が期待できるもの
- ・農作物に悪影響を与えないよう、背丈が高くならず、枝葉が広がらないもの
- ・年間を通して効果が発揮できるもの。



グリーンベルト整備のイメージ

### 【注意事項】

- ・設置に際しては、生態系保全の観点から、植栽に適当な在来種がある場合には、優先的に使用することを検討してください。また、必要に応じて専門的な知識を有する者の助言を受けてください。
- ・グリーンベルト等が小動物の通り道や住処となっている可能性がありますので、必要以上に刈り取らないようにしてください。

◎詳しくはこちら（農林水産省 HP リンク）

[http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen\\_siharai/nouson\\_furusato\\_hozen/H30/pdf/greenbelt.pdf](http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/H30/pdf/greenbelt.pdf)

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

## ■編集後記■

先日、韓国の焼肉料理、サムギョプサルを食べました。「サム」は数字の3、「ギョプ」は層、「サル」は肉を表すそうで、日本でいう三枚肉すなわちばら肉を意味するそうです。斜めに傾けた鉄板の上で、豚肉を焼いて食べたのですが、豚肉を焼いた時に出る脂が鉄板を下って、貯まっていく光景を見ると、何だかダイエットしているようで、得した気分になります。もちろん、食べ過ぎれば太るわけですが…。

そんなことは気にせずに、食べたい分だけ食べようと思います。何せ、今は、食欲の秋、それからスポーツの秋です。たくさん食べて、たくさん運動すればいいだけの話です。秋、満喫しましょう！

◇バックナンバー◇

[http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen\\_siharai/nouson\\_furusato\\_hozen/index.html](http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html)

バックナンバーはこちらからもご覧いただけます！→



◇平成30年度多面的機能支払交付金のあらまし◇

[http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen\\_siharai.html](http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html)

◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。どんどんご活用ください！！

[http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen\\_siharai/nouson\\_furusato\\_hozen/H29/pdf/logo.docx](http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/H29/pdf/logo.docx)



高めよう 地域協働の力！

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから！

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

[tamen\\_ml@maff.go.jp](mailto:tamen_ml@maff.go.jp)

-----  
【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：藤田、大木）

TEL：03-3502-8111（内線5493）  
-----